

● 平成23年度松山市議会議員海外都市行政視察を終えて

団員 武田 浩一

平成23年度松山市議会議員海外都市行政視察について報告する。

1. はじめに

今回の視察は、サクラメント市との姉妹都市提携30周年を迎え、さらなる交流の深化と、それぞれの団員が目的をもち効果を上げるため、勉強会を実施した上で参加した。(私の担当の詳細は「ホーム・デポ・センターの取り組み」の報告を参照)

平成24年1月31日に松山空港に集合し、「平成23年度松山市議会議員海外都市行政視察」出発式が、議長を初め大勢の参加を得て開催された。

出発式終了後、松山空港から羽田空港、そして、バスで成田空港へ移動し、いよいよ出国となった。1月31日の午後5時25分に出発し、時差の関係もあり、同日9時30分にサンフランシスコ国際空港に到着した。

サンフランシスコで初めての入国審査。右手の指紋を採取され、終わりかと思ったら何か言ってきた。訳もわからず固まっていると、左肩をたたかれ左手の指紋だとわかり採取に応じた。

「何の目的で来たのか」と、「何日いるのか」と簡単な質問を受け、答えると入国できた。サンフランシスコからは、バスで約2時間かけ姉妹都市であるサクラメントに移動した。

2. サクラメント（松山市と姉妹都市でカリフォルニア州の州都）

今回の目的である姉妹都市との交流をさらに深めるために、サクラメント市役所で、市長、市議会議員と意見交換し、松山サクラメント姉妹都市協会のスギモト会長ほかと昼食をとりながら歓談した。(その中で、本年10月に来松とのこと)

午後からは、マツヤマ小学校において、6年生と4年生のクラスに出向き、折り紙で鶴を折りながら子供たちと交流を深めた。(お土産で渡した折鶴を大変喜んだ)

次に、サクラメント観光局とサクラメント電力公社を視察した。サクラメント観光局の誘客ターゲットは、観光客ではなくビジネス（イベントや研修会）であり、人口46万人の都市が、松山市の年間観光客の約3倍に当たる来訪者による宿泊代ほかの税金で、まちが活性化されていた。また、サクラメント電力公社では、環境問題に真剣に取り組んでいる姿勢が伝わった。(特にバイオマスに力)



(サクラメント市庁舎内市長記者会見場)

3. ロサンゼルス（温暖で人口が多いため交通渋滞が慢性化）

気候が温暖なこともあり、スポーツに対する意識が高く、年間を通じてスポーツが活発で、ホーム・デポ・センター（メジャーリーグサッカーのロサンゼルス・ギャラクシーやクラブ・デポルティボ・チーヴァス・USAがホームスタジアムとして使用）があった。

動物愛護についても、寄附や遺贈、補助金でSPCA（動物虐待防止協会）等が活動していた。SPCAでは、里親養子縁組やしつけ教室等約20のプログラムを約160人の職員と約2,400人のボランティアで運営していた。

UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）は、校内が広く、大変きれいな（建物・景色）であった。現地のガイドさんの話では、学生たちが母校のことをものすごく大切に思っていることが感じられた。

マグラース・ファミリー・ファームは、再生可能な有機農業（果実・野菜）を営み、持続可能な有機農業に関して学校や視察団体に対して研修ツアーを実

施していた。

4. サンフランシスコ（小さな土地に大勢の人が集まる坂の多い町）



（サンフランシスコを走るケーブルカー）

ツインピークスでサンフランシスコの全景を見た後、ゴールデン・ゲート・ブリッジに行き、ゴールデン・ゲート・ブリッジと瀬戸大橋が姉妹橋だと初めて知った。

また、ヨセミテ国立公園は、壮大な景色で動物たちに対しても、ごみ箱等の設備が十分に配慮された観光施設として素晴らしい公園だった。

5. 結び

すべての日程を終えて、2月7日午前8時40分ごろ、ホテルをバスで出発し、サンフランシスコ国際空港に移動し、出国審査後、午前11時10分に出発し、時差の関係もあり、2月8日午後3時30分ごろ、成田国際空港に到着した。成田から羽田に移動し、最終便で松山空港に到着したのは午後の9時ごろだった。

今回の視察で得た知識を、今後の松山市活性化のために生かした活動に取り組む。

最後に、視察に協力していただいた皆様に感謝し、報告とする。